

白票を用いた投票総数の調整に係る 構造的な課題及び再発防止策

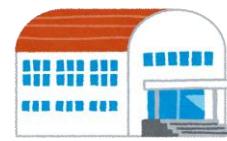
大田区における開票の流れ

各投票所(70か所)



- 投票速報システムの入力
- 投票録の作成
- 投票録・投票箱の送致

開票所(大森スポーツセンター)



投票録・投票箱の受領

【速報室】

- 投票速報の作成
 ・当日投票者数は投票速報システムや投票録を用いて集計する。
 ・期日前投票者数は前日夜間に確定
 ・不在者投票者数は当日午後8時に確定



投票速報(確定報告)を区ホームページに公表

【開票会場】

- ①投票箱の開披作業
(開披台)



- 票の両面を読み取り、候補者・政党別に仕分ける

有効票・白票
(分類機で読めた票)

- ②分類機班

リジェクト票
(分類機で読みなった票)

有効票・白票
(分類機で読めた票)

- ③リジェクト班

リジェクト票は検査シートを用いて手作業で仕分ける

- ④検査班

有効票束(候補者票・政党票)や白票束の表裏を1枚ずつ検査し、同一の候補者・政党であるかを検査する

有効票・白票

疑問票(難読票・疑問白票・点字票・按分票等)

- ⑤疑問班

疑問票の有効・無効を審査する

回示済の票
(有効票・無効票)

白票
※無効票はすべて回示するため、疑問班へ運搬



開票管理者・立会人



開票確定、開票録の作成

開票作業の終了
(開票率100%)

疑問票

回示済の票

白票

⑥検査済センター
検査で検査が済んだ票を一時的に集めておく場所

有効票・白票

⑦計数結束班

- 票を計数機で2回計数し、500票束を作る。
- 500票束には、バーコード付票(500票用)をセットする。
- 残った端数票も計数し、バーコード付票(手入力用)をセットする。

有効票

⑧回示票計数担当

回示済の票を2人1組で計数し、バーコード付票(手入力用)をセットする。

回示済の票
(有効票・無効票)

⑨集計班

パソコン2台でバーコード付票を読み取り、1台ごとに集計作業をする。



班の名称	主な作業内容
分類機班	機械を使って票を候補者・政党別に仕分ける
リジェクト班	分類機班で分類できなかった票を職員の手作業で仕分ける
検査班	分類機班とリジェクト班で仕分けた票が同一の票束になっているか検査する
疑問班	リジェクト班・検査班で判断できなかった票の有効・無効を審査する
計数結束班	検査済センターの票を計数して500票束に結束し、バーコード付票を付ける
集計班	票束のバーコード付票を読み取り、集計する

現行の業務手順

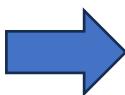
現行の業務手順では、⑦計数結束班または⑧回示票計数担当で票を計数結束し、端数票束(500票束に満たない票束のことを言う。)には**票数を記入したバーコード付票**を添付する。バーコード付票が添付された票束は専用のカゴに入れて、⑨集計班に運搬される。⑨集計班では運搬されたバーコード付票をバーコードリーダーで読み取り、付票に記入されている数値を「開票集計システム」に入力する。

⑦ 計数結束班

⑧ 回示票計数担当



票の計数結束は2名体制で行われ、端数票に関しては手書きで票の合計数を記載する。



専用のカゴを使用して、票束の運搬は行われる。

⑨ 集計班



バーコード付票をバーコードリーダーで読み込み、付票に記入された数値を直接「開票集計システム」に入力する。

「投票者総数」と「投票総数」が一致している場合は、以下のとおりになる

投票者総数	50,000人
投票総数	50,000票
持ち帰り不足票	0票

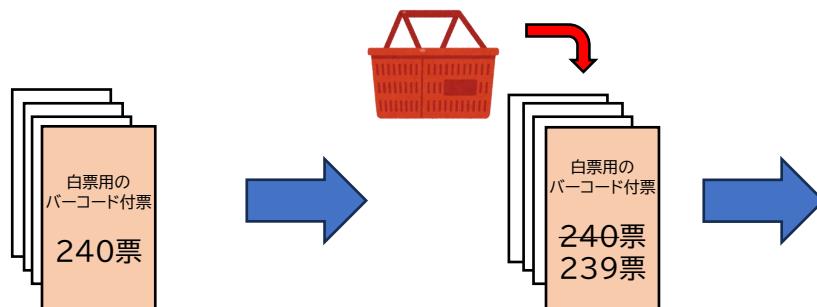
※持ち帰り不足票：投票用紙は交付したが、投票箱には投函されず、持ち帰られてしまったと推測される票

白票を用いた投票総数の調整に係る構造的な課題

原則として、「投票者総数」と「投票総数」は一致する(または「投票者総数」より「投票総数」が若干少なくなる)が、何らかの誤りにより「投票者総数」と「投票総数」に齟齬が生じる場合がある。その際、以下のように白票用のバーコード付票を用いて投票総数を増減させることが生じ得る環境にあり、正規の手続によらない不適正な処理が発生する恐れのある構造的な課題が存在していたと考えられる。

例A 「投票者総数」と「投票総数」を比較して、「投票総数」が1票でも多い場合

- 1人に2票交付している場合や開票所に票が不正に持ち込まれた可能性があるため、白票のバーコード付票の票数を減らして投票総数を減少させることができる。



⑧回示票計数担当

票の計数結果やバーコード付票への票数記載は正しく行われ、専用のカゴに入れられる。

⑨集計班へ票を運搬する中で、記載された票数に手書きで取り消し線を加え、数値を書き換える。

【本来の集計結果】

投票者総数	50,000人
投票総数	50,001票
持ち帰り不足票	▲1票

※持ち帰り不足票がマイナス：投票人数より集計した票数の方が多くなった場合

【白票増減後の集計結果】

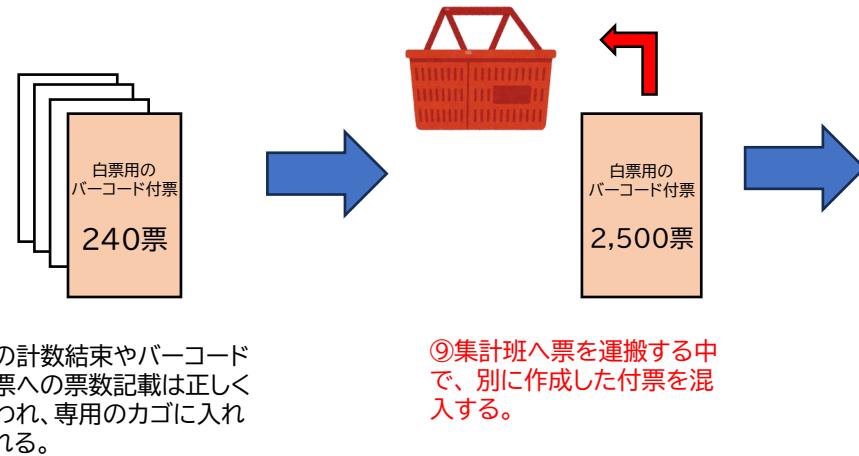
投票者総数	50,000人
投票総数	500,00票
持ち帰り不足票	0票

白票を用いた投票総数の調整に係る構造的な課題

例B 「投票者総数」と「投票総数」を比較して、「投票者総数」が極端に多い場合

- 現実的に投票所で大量の持ち帰り不足票は発生しないため、白票のバーコード付票を混入し、投票総数を増加させることができる。

⑧回示票計数担当



【本来の集計結果】

投票者総数	50,000人
投票総数	47,500票
持ち帰り不足票	2,500票

※持ち帰り不足票が2,500票：投票用紙は交付したが、投票箱には投函されず、持ち帰られてしまったと推測される票が2,500票ある場合

【白票増減後の集計結果】

投票者総数	50,000人
投票総数	500,00票
持ち帰り不足票	0票

本来、これらのケースは「投票者数」や「投票数」の集計誤りが主な原因であると想定されるため、それぞれの数値の再点検を実施する必要がある。

しかしながら、開票作業の終盤において開票立会人等の外部の関係者だけでなく、選管以外の従事職員も待機している状況下で作業を早急に進めなければならないという強い心理的圧力が選管職員に生じることが想定される。

本選挙における不適正処理もこのような心理的圧力が影響した可能性がある。

白票を用いた投票総数の調整に係る再発防止策

1. 投票数の集計に係る業務手順、各種様式の変更

バーコード付票が適正に処理される業務手順に変更する。

変更箇所の主なポイントは、以下のとおりである。

- ・バーコード付票(手入力用)については、事務長、選挙管理委員会事務局長及び集計・結束を担当する班長の確認(押印)を必須とする。
- ・バーコード付票の記載方法および集計班における作業方法の一部を見直し、開票集計システムにおいて付票の適正な読み込み処理が行われるようにする。

項目	変更前	変更後
バーコード付票(手入力用)の様式	押印欄なし	押印欄あり
バーコード付票(手入力用)の記載方法	青鉛筆で票数を記載	青鉛筆で票数を記載、 訂正表示(取り消し線等) は不可
計数結束後の票束の運搬	直ちに集計班へ	事務長又は選管事務局長の確認・押印後 、直ちに集計班へ
集計班での集計作業①	バーコード付票を読み込む	票束とセットになった バーコード付票を読み込む
集計班での集計作業②	なし	バーコード付票への押印の確認

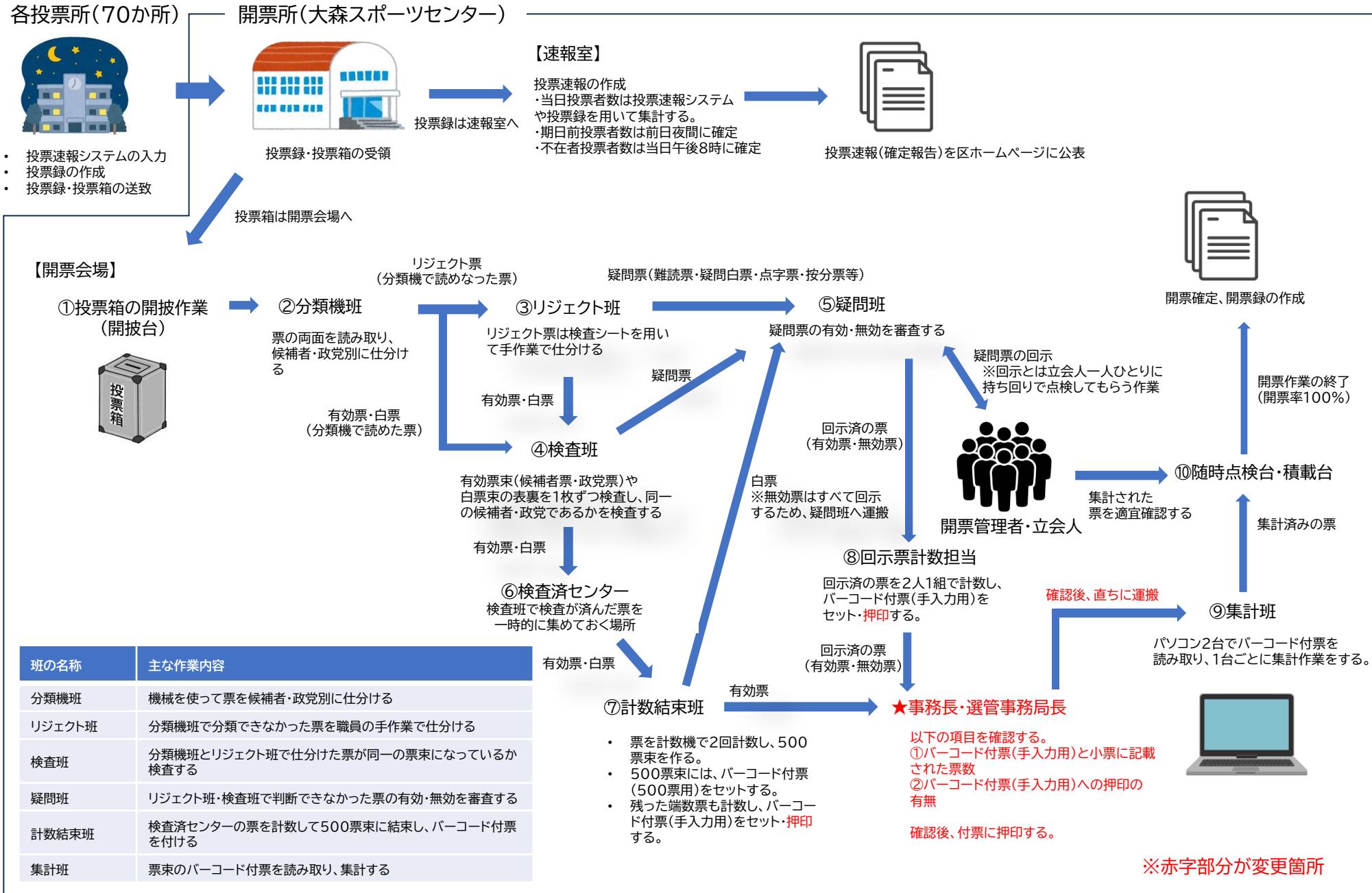
2. 「投票者総数」と「投票総数」に齟齬が生じた場合の業務手順の整備

これまで「投票者総数」と「投票総数」に齟齬が生じた場合の具体的な業務手順が定められていなかったため、資料3-2「投票者総数と投票総数に齟齬が発生した場合のフローチャート」を策定する。

業務手順の主なポイントは、以下のとおりである。

- ・事務長、選挙管理委員会事務局長、開票管理者・立会人、関係機関(東京都選挙管理委員会、報道機関等)への報告体制の明確化
- ・投票者数の再点検方法の整備
- ・投票数の再点検方法の整備

大田区における開票の流れ.ver2



参考：付票等の見本

①500票付票

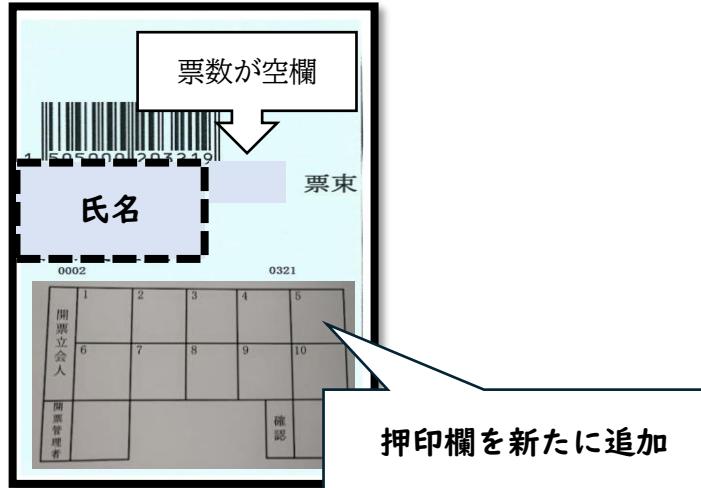


②白紙用付票



内容及び票数の確認の
上、押印欄してもらう

③手書き付票(改善後)



④有効小票
※手書き付票と一緒にセット

